

## 6. 実現方策

### 6-1 重点プロジェクト

- ・本村全体の活力あるまちづくりを牽引し、地域振興に貢献するなどの影響力のある事業・制度・施策を重点プロジェクトとして選定します。

#### (1) 重点プロジェクトの選定方針

- ・本村全体のまちづくりに対してどのような良い影響を与えるか判断する目安として、次のような事項を確認します。

##### ①上位計画や関連計画における位置付け

- ・本村の都市計画やまちづくりの上位計画や関連計画である美浦村総合計画，茨城県都市計画マスタープラン，稲敷東部台都市計画区域の都市計画区域マスタープランなどにおけるまちづくりの方針との整合性や関連性を確認します。
- ・これらの上位計画・関連計画にも位置付けられているものや，これらに基づいて既に計画などが策定済みであるか確認します。

##### ②村民意向

- ・村民の皆さんの快適な生活を支える都市計画やまちづくりであることが重要であることから，村民の意向に合うものであるか確認します。
- ・具体的には，意向調査結果や意見徴収結果などを踏まえ，それと整合する事業などであるか確認します。

##### ③これまでの経緯

- ・過去の経緯として，関係各位との合意形成や具体的な計画立案に基づいて既に事業などに着手されているなど，継続性を尊重すべきものであるか確認します。

##### ④課題解消

- ・本村のまちづくりにおいて課題となっている事項に関連しており，その解消に役立つなどの緊急性があるか確認します。

## (2) 重点プロジェクトの選定結果

- ・前に示した選定方針を踏まえ、本村のまちづくりに貢献する重点プロジェクトとして次の4つを位置付けることとします。
- ・なお、重点プロジェクトに該当しない事業などについては、個別に順次具体化を行います。

### ①企業誘致プロジェクト

- ・昨今の社会経済情勢の低迷や本村における地域経済の活力の低下、逼迫する行財政の状況などを踏まえ、活力ある地域づくりに貢献する企業誘致を図ることとします。
- ・また、企業誘致によって、村民の就業の場の確保、村民の村外流出の減少と定住人口の増加などを期待するものです。
- ・このプロジェクトは、「①上位計画や関連計画における位置付け」については総合計画において位置付けられ、「②村民意向」については約70%の村民が既存用地などへの企業誘致を望んでおり、「③これまでの経緯」については村による企業誘致PR活動が行われ、「④課題解消」については村の交流人口や定住人口の増加と活性化に資するものです。

#### 【具体的な取り組みの例】

- ・進出意欲のある企業を見い出すための企業へのアプローチ（誘致のための広報活動）
- ・木原地区にある工業系の市街化区域内未利用地における企業誘致
- ・市街化調整区域の村有地や一団の低・未利用地における地区計画制度の適用による企業誘致
- ・企業誘致候補地区における関連インフラ（幹線道路、上下水道、電力など）の整備
- ・新たな就業者が増加した際の定住人口の受け皿（住宅地）の整備

### ②交流拠点プロジェクト

- ・村民の快適な日常生活を支えると共に本村への来訪者の利用も念頭に置いた商業施設などの立地促進を図ります。
- ・村民と都市住民などの来訪者の相互利用によって生まれる交流による村の活性化を図るための拠点とすることを目指します。
- ・交流拠点から始まった交流が村内の各種拠点などにも広がることで、村全体の活性化につながることを期待します。
- ・このプロジェクトは、「①上位計画や関連計画における位置付け」については総合計画において商業活性化住宅地ゾーンや物産センターとして位置付けられ、「②村民意向」については約67%の村民が買い物環境に不満があるうえ約70%が幹線道路沿道などに商業施設の誘致を望んでおり、「③これまでの経緯」については主に行政内や商工関係組織などにおいて具体化の検討が行われ、「④課題解消」については村民の利便性や地域の魅力の向上に資するものです。

#### 【具体的な取り組みの例】

- ・国道125号バイパス（都市計画道路3・3・1 美浦・江戸崎線）の未整備区間の整備
- ・本村の農産物などの直売所の整備
- ・国道125号などの自動車交通の休息・情報案内などのための拠点の整備
- ・道の駅などの施設の整備
- ・農業体験を通じた都市農村交流を図るクラインガルテンの整備
- ・交流拠点と村内にある他のレクリエーション施設などとの連携（動線整備や回遊の仕組みの構築など）の確保

### ③幹線道路整備プロジェクト

- ・本村周辺都市にある都市機能を有効に活用することや、本村内の市街地や拠点などへの移動を円滑に行うため、主要な幹線道路のネットワークを充実させるものです。
- ・また、新しい道路を整備することで移動を容易にするだけでなく、市街地などを中心として沿道への宅地化や商業などの産業立地を促進する効果も期待できます。
- ・このため、特に村の活力増進に役立つ幹線道路を明確にし、優先的に整備を行うこととします。
- ・このプロジェクトは、「①上位計画や関連計画における位置付け」については総合計画において地域間交流の推進が位置付けられているほか将来の地域像として主要道路網が示され、「②村民意向」については約80%の村民が幹線道路の整備を望んでおり、「③これまでの経緯」については国道125号バイパスを始めとして国県村が道路網の整備を進めており、「④課題解消」については上記の「企業誘致」や「交流拠点」のための最も重要なインフラのひとつです。

#### 【具体的な取り組みの例】

- ・国道125号バイパスの整備
- ・首都圏中央連絡自動車道ICに接続する幹線道路の整備（主要地方道美浦栄線など）
- ・県道や骨格的な村道の整備
- ・企業立地や交流拠点形成を支援するための幹線道路の整備
- ・都市計画道路の再検討による優先整備路線と都市計画変更候補路線の抽出

### ④きれいな美浦の景観づくりプロジェクト

- ・本村を特徴付けている自然、農業、歴史、景観などの素材に着目し、村全体が生きた展示物であるかのように魅力的な資源にしつらえてあり、しかも村全体がまるで庭園や公園のように美しく整えられ、村民や来訪者が快適であることを目指すものです。
- ・このプロジェクトは、「①上位計画や関連計画における位置付け」については総合計画において霞ヶ浦の美しいむらづくりとして「環境保全と景観」「土地利用」「歴史・伝統文化」を一体的に整えることが位置付けられ、「②村民意向」については約85%の村民が歴史や自然を活かした美化を支持し、約83%が散策路やサイクリングロードの整備を望んでいるものです。

#### 【具体的な取り組みの例】

- ・景観行政団体の指定と景観計画の策定
- ・公園・緑地の整備
- ・農業振興や田園景観のシンボルとなるクラインガルテン構想の具体化
- ・陸平貝塚や木原城址城山公園などの歴史資源の保全と資源の維持活動
- ・幹線道路やフットパスの整備
- ・花いっぱい運動の拡充
- ・行政と村民・各種団体などが連携した日常的な美化活動と資源案内活動

## 6-2 都市計画による事業・制度・施策

### (1) 都市計画による事業・制度・施策

- ・本村における各種のまちづくりのうち、都市計画を中心とする事業・制度・施策によって具体化を行うものは次のとおりです。
- ・これらの事業・制度・施策のうち、これから整備などを行うものについては、今後、より詳細な整備計画などを立案することとします。
- ・なお、それぞれの事業・制度・施策の着手時期については、その目安として「短期：着手済みまたは今後おおむね10年以内に着手」、「中長期：今後おおむね11年以降に着手」とするほか、複数の箇所などをそれぞれ異なる時期に着手する場合は「個別に随時」とします。

事業・制度・施策	主体の例	手法の例	着手時期の目安	備考
<b>土地利用</b>				
木原地区（市街化区域）	村（企画財政課、都市建設課）及び村民・企業など	都市基盤施設の個別または面整備	短期	
美駒地区（市街化区域）	村（企画財政課、都市建設課）及び村民・企業など	都市基盤施設の個別または面整備	短期	
将来市街地	村（企画財政課、都市建設課）または企業	地区計画・開発行為または面整備	短期	商業系市街地 工業系市街地
市街化調整区域	村（企画財政課、都市建設課）及び村民・企業など	個別	個別に随時	農地などの保全系の規制と連動
産業導入拠点	村（企画財政課、都市建設課）及び企業	地区計画・開発行為など	短期	
行政サービス拠点	村（企画財政課、都市建設課）など	個別	整備済み	新施設は随時
生活拠点	村（企画財政課、経済課）及び村民・企業など	個別	個別に随時	
<b>道路(広域連絡道路)</b>				
(国)125号((都)3・3・1 美浦・江戸崎線)	県	道路事業	中長期	バイパス
<b>道路(周辺都市連絡道路)</b>				
(主)美浦栄線+(都)3・4・9 布佐・上宿線	県など	道路事業	短期	
(一)上新田木原線+(都)3・4・6 上宿・大須賀線	県	道路事業など	短期	一部整備済み
(仮称)東部南北軸	未定	道路事業	未定	要稲敷市調整
(一)稲敷阿見線	県	道路事業	短期	
(国)125号現道(舟子～木原)	県	道路事業	中長期	歩道設置など

※(国)：国道，(主)主要地方道，(一)一般県道，(村)村道，(都)都市計画道路

※美浦村役場の部署・組織は、代表的な担当部署の一例であり、組織名は平成24年1月時点のもの

事業・制度・施策	主体の例	手法の例	着手時期の目安	備考
<b>道路(村内連絡道路)</b>				
(一)大山江戸崎線	県	—	概ね完了	
(都)3・4・5 大須賀・郷中線	村(都市建設課)	街路事業	中長期	都計道再検討
(村)102号線	村(都市建設課)	—	概ね完了	
(国)125号現道(木原～光と風の丘公園付近)	県	道路事業	中長期	歩道設置など
<b>道路(生活道路)</b>				
	村(都市建設課)	道路事業	個別に随時	
<b>その他の交通施設</b>				
フットパス	県, 村(都市建設課)	道路事業など	個別に随時	既存道路などの活用
公共交通	村(企画財政課), 民間	—	個別に随時	
<b>公園・緑地</b>				
都市公園	村(都市建設課)	公園事業	個別に随時	新市街地などと合わせて整備
その他の公園など	村(企画財政課, 都市建設課, 経済課, 生涯学習課)	公園事業	概ね完了	既存公園
地域制緑地	村(都市建設課, 経済課)	法指定	個別に随時	
クラインガルテン	村(未定)	市民農園整備	短期	
フットパス	県, 村(都市建設課)	道路事業など	個別に随時	既存道路などの活用
<b>河川</b>				
湖沼	国	河川事業	整備済み	親水化, 環境, 景観を検討
河川	県, 村(都市建設課)	河川事業	おおむね完了	親水化, 環境, 景観を検討
<b>排水</b>				
雨水排水	村(経済課, 上下水道課)	公共下水道	中長期	
汚水排水	村(上下水道課, 生活環境課)	公共下水道など	短期	
<b>その他の都市計画施設</b>				
	村など(都市建設課)	個別	短期	整備済み
<b>面的整備・地区計画</b>				
面的整備	村(都市建設課), 組合など	開発行為, 土地区画整理事業など	中長期	
地区計画	村(都市建設課)及び村民・企業など	地区計画制度	短期	

※(国)：国道，(主)主要地方道，(一)一般県道，(村)村道，(都)都市計画道路

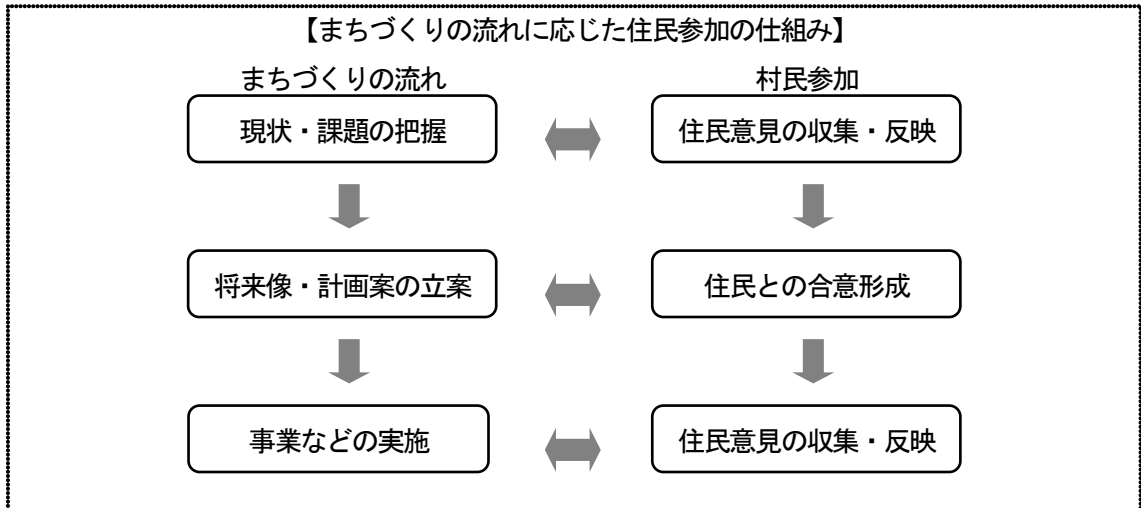
※美浦村役場の部署・組織は，代表的な担当部署の一例であり，組織名は平成24年1月時点のもの

## (2) 事業などを進める際の留意事項

- ・都市計画やまちづくりを進める際に留意することが望ましい事項を示します。

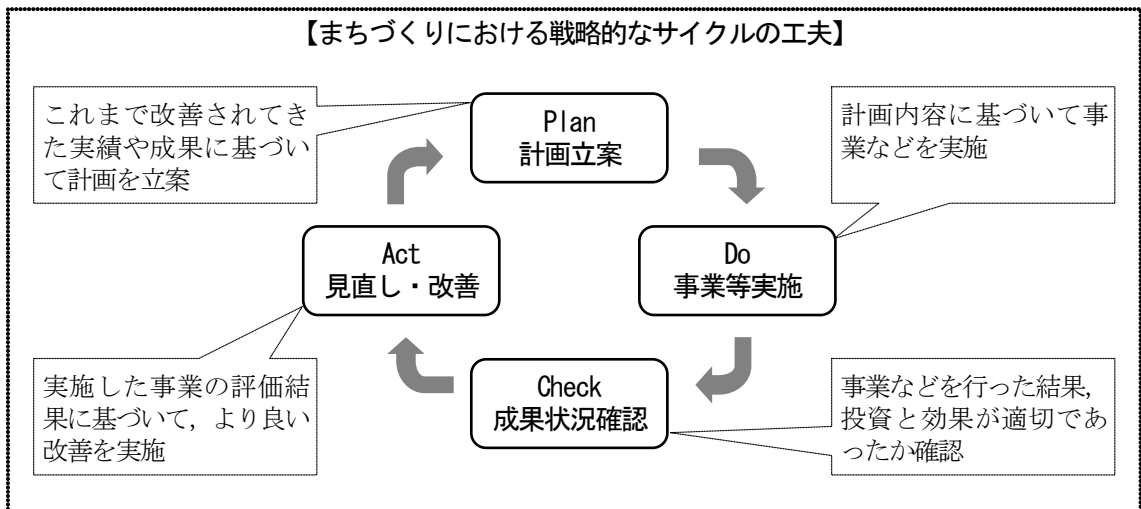
### ①住民参加のまちづくり

- ・村の様ざまな立場の意見を踏まえるためには、それぞれ立場の方の参加が必要であり、行政だけでなく、村民、企業・団体など、本村のまちづくりに関わる多くの方が役割を分担しながら参加することが好ましいと考えられます。
- ・村民の皆さんに対する意向調査結果からは、村民が主体で取り組むよりも、行政が旗振り役となってリードしながら進めることが望まれているため、当面は行政が主導的に対応し、徐々に主体を村民などに移行させていくことが本村のまちづくりに合った手法であると見られます。



### ②まちづくりへのPDCAサイクルの活用

- ・各種の業務やプロジェクトを効果的に遂行するための生産管理の仕組みとして、PDCAサイクルがありますが、まちづくりなどの行政計画や事業についても、過去の同種事業や関連事業などの経験を活かしつつ、より良い工夫を行うための改善の仕組みとしてこの考え方や取り組みが求められつつあります。
- ・このため、本村のまちづくりを行う際には、「調査及び計画立案→事業実施→事業評価→見直し」によって継続的に改善を行うこととします。



### ③まちづくりにおける集中と選択

- ・右肩上がりの社会経済情勢の時代にあつては、本村の行財政状況も比較的恵まれていたことから、多くの予算を様々な分野に同時並行で投資することもできましたが、昨今の社会経済情勢においては、予算も限られ、さらには村民などの価値観も多様化していることから、的を絞った施策展開が求められています。
- ・このように、行財政が厳しい中でこれからの本村のまちづくりは、効率的で効果的に取り組むことが重要となっています。
- ・そこで、これからの本村のまちづくりにおいては、重点的に取り組むべきことがらを明確にし、それに対して予算などを集中的に投資する、集中と選択を明確にすることとします。

